

# 令和2年度第1回文京区障害者地域自立支援協議会

## 地域生活支援専門部会 次第

令和2年9月4日(金) 午後2時～

障害者会館A・B会議室

### 1 開会

### 2 議題

(1) 令和2年度自立支援協議会各専門部会の検討事項について

【資料第1号】

(2) 本富士地区地域生活支援拠点実績報告について

【資料第2～4号】

(3) 緊急時の対応及び生活体験について

【資料第5号】

### 3 その他

《その他配付資料》

・文京区障害者地域自立支援協議会地域生活支援専門部会座席表

## 令和2年度文京区障害者地域自立支援協議会

### 各専門部会の検討事項について

令和元年度における各専門部会（以下「部会」という。）の活動については、これまで積み重ねた議論の中で見えた課題等を整理した上で、次期障害者・児計画に盛り込むことを前提として実現可能な施策を検討することとしていた。

これを踏まえ、令和2年度の各部会の検討事項は、下記の事項とし、下記事項については、文京区障害者地域自立支援協議会へ検討の進捗状況及び議論の方向性を報告する。

また、各部会は、検討事項に属さない事項についても、必要に応じて検討するものとする。

#### 1 相談支援専門部会（2回）

相談に関する課題や問題点を分析し、相談支援体制のシステム等についての調査・研究・検討を行う。

次期障害者・児計画に盛り込むことを前提として令和元年度に検討した施策について、より具体的に検討していく。

#### 2 就労支援専門部会（2回）

就労に関する相談や支援内容等についての調査・研究・検討を行う。

次期障害者・児計画に盛り込むことを前提として令和元年度に検討した施策について、より具体的に検討していく。

#### 3 権利擁護専門部会（3回）

権利擁護に関する課題や支援のあり方についての調査・研究・検討を行う。

次期障害者・児計画に盛り込むことを前提として令和元年度に検討した施策について、より具体的に検討していく。

#### 4 障害当事者部会（3回）

障害当事者からの情報発信等についての検討等を行う。

障害当事者部会で検討した内容について、区民へ向けた障害理解を深めるための啓発活動を行う。

#### 5 地域生活支援専門部会（3回）

障害者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制の構築について検討を行う。

令和3年度に地域生活支援拠点を設置する駒込・富坂地区の地域課題への対応について検討する。

# 地域生活支援拠点業務実績

令和元年度（10月～3月） 合計 610 件

|         |       |      |       |       |       |      |       |      |     |      |
|---------|-------|------|-------|-------|-------|------|-------|------|-----|------|
| ①相談     | 225 件 | (内訳) | 電話    | 185 件 | メール   | 0 件  | 来所    | 36 件 | その他 | 4 件  |
| ②自宅訪問   | 24 件  | (内訳) | 4時間未満 | 24 件  | 8時間未満 | 0 件  | 8時間以上 | 0 件  | その他 | 0 件  |
| ③関係機関連携 | 253 件 | (内訳) | 電話    | 161 件 | メール   | 53 件 | 訪問    | 22 件 | その他 | 17 件 |
| ④同行     | 26 件  | (内訳) | 医療機関  | 3 件   | 公共機関  | 12 件 | 事業所   | 2 件  | その他 | 9 件  |
| ⑤会議開催   | 6 件   | (内訳) | ケース会議 | 1 件   | 地域づくり | 0 件  | 拠点関係  | 5 件  | その他 | 0 件  |
| ⑥会議出席   | 26 件  | (内訳) | 基幹    | 3 件   | 医療機関  | 0 件  | 公共機関  | 12 件 | その他 | 11 件 |
| ⑦イベント参加 | 12 件  | (内訳) | 町会    | 0 件   | 地域    | 5 件  | 区役所関係 | 1 件  | その他 | 6 件  |
| ⑧サロン利用  | 38 件  | (内訳) | 精神    | 33 件  | 知的    | 0 件  | 身体    | 0 件  | 不明  | 5 件  |

令和2年度（4月～7月） 合計 646 件

|         |       |      |       |       |       |      |       |      |     |      |
|---------|-------|------|-------|-------|-------|------|-------|------|-----|------|
| ①相談     | 317 件 | (内訳) | 電話    | 276 件 | メール   | 2 件  | 来所    | 35 件 | その他 | 4 件  |
| ②自宅訪問   | 13 件  | (内訳) | 4時間未満 | 13 件  | 8時間未満 | 0 件  | 8時間以上 | 0 件  | その他 | 0 件  |
| ③関係機関連携 | 265 件 | (内訳) | 電話    | 217 件 | メール   | 32 件 | 訪問    | 2 件  | その他 | 14 件 |
| ④同行     | 27 件  | (内訳) | 医療機関  | 9 件   | 公共機関  | 16 件 | 事業所   | 0 件  | その他 | 2 件  |
| ⑤会議開催   | 1 件   | (内訳) | ケース会議 | 1 件   | 地域づくり | 0 件  | 拠点関係  | 0 件  | その他 | 0 件  |
| ⑥会議出席   | 15 件  | (内訳) | 基幹    | 4 件   | 医療機関  | 0 件  | 公共機関  | 6 件  | その他 | 5 件  |
| ⑦イベント参加 | 3 件   | (内訳) | 町会    | 0 件   | 地域    | 3 件  | 区役所関係 | 0 件  | その他 | 0 件  |
| ⑧サロン利用  | 5 件   | (内訳) | 精神    | 5 件   | 知的    | 0 件  | 身体    | 0 件  | 不明  | 0 件  |

令和元年度一か月平均

|       |       |      |       |     |         |      |        |     |
|-------|-------|------|-------|-----|---------|------|--------|-----|
| 101 件 | ①相談   | 38 件 | ②自宅訪問 | 4 件 | ③関係機関連携 | 42 件 | ④同行    | 4 件 |
|       | ⑤会議開催 | 1 件  | ⑥会議出席 | 4 件 | ⑦イベント参加 | 2 件  | ⑧サロン利用 | 6 件 |

令和2年度一か月平均

|       |       |      |       |     |         |      |        |     |
|-------|-------|------|-------|-----|---------|------|--------|-----|
| 161 件 | ①相談   | 79 件 | ②自宅訪問 | 3 件 | ③関係機関連携 | 66 件 | ④同行    | 7 件 |
|       | ⑤会議開催 | 0 件  | ⑥会議出席 | 4 件 | ⑦イベント参加 | 1 件  | ⑧サロン利用 | 1 件 |

## 本富士拠点実績報告

## 1 相談支援

## 事例①

|        |   |
|--------|---|
| 本人及び家族 | 40代男性（精神）、実家マンションに1人暮らし、80代の母親は特養入所中  |
| 支援者    | 包括支援センター・ケアマネージャー・特養担当者・通所事業所担当者  |
| 状況     | 包括より母親に介入中に息子の精神的な落ち込みがあり、自殺企図なども心配されると相談あり。包括担当者と介入開始、本人との面談を重ねる。不安を聞く、精神科医療の継続の働きかけなど続け、徐々に安定。現在は社会復帰に向け就労継続支援B型事業所に通所開始している。また母親の入院から施設入所に向けた本人サポートも行った。 |
| 拠点の役割  | 本人との電話相談や面談。母親の施設入所に向け母親の支援者との連携。本人の回復に向けた福祉サービスの紹介。  |

## 事例②

|        |  |
|--------|--|
| 本人及び家族 | 母：40代女性（難病・身体・精神）、息子：20代男性（知的） 生活保護 マンション暮らし   |
| 支援者    | 基幹相談支援センター・訪問看護・障害福祉課・就労支援センター   |
| 状況     | 基幹より紹介。母親の生活相談が始まる。定期的な家庭訪問をはじめ、身体障害の福祉用具申請など障害福祉課に相談したりする。ヘルパーも導入を試みるがマッチングできず、本人との関係も悪化する時期あった。訪問の中で息子との関係も築き、状況を把握、本人の希望もあり就労支援センターへつなげる。その後母親の体調不良により両者ともに支援の膠着状態になるなどしており、長期的な支援になっていきそうなケース。 |
| 拠点の役割  | 関係機関と情報共有、調整しながらその時に母親と関係が持てる支援者がアプローチしている。訪看への信頼が厚く、また基幹と並行的に関わっているため、どこかのチャンネルが閉ざされても支援が途切れないような枠組みにする。  |

## 2 地域づくり

|       |   |
|-------|---|
| 関係機関  | 社協・町会・NPO法人・地域の企業など   |
| 経緯    | 社協が本富士地区に今までなかった多機能の常設の居場所を作れるように活動をされていた。地域づくりを柱の一つとしている拠点ができ、研修等で関わっていく中で社協からお声がけをいただき、居場所づくり実行委員の一員として関わっている。障害の有無に関わらず様々な方が利用できる居場所を目指している。 |
| 拠点の役割 | 居場所づくりコアメンバーとして、一時的に広報を担当し、周知活動のお手伝いをしている（今後地域の方に担ってもらう予定）。一部時間帯に居場所に滞在し、地域の方の相談にのったり情報提供ができる体制を作っている。  |

# Reなでしこ元町

ができました！

## Reなでしこ元町の由来

**Re**には、リラックス、リフレッシュ、リラクゼーション、リメンバー(思い出す)、リターン(帰ってくる)、リニューアル(生まれ変わる)など様々な意味が込められています。

また、地元の方の慣れ親しんだ旧町名の**元町**と元町小学校の象徴の**なでしこ**をいれ、地域の方に親しみやすく気軽に遊びに行ける居場所になるように想いを込めました。



本富士地区に新しく気軽に立ち寄って自由に過ごせる場所が欲しいという希望があり、町会、地域の方、社会福祉協議会、様々な相談機関が協力して立ち上げました！

- ・ちょっと休憩したい
- ・誰かと交流したい
- ・気分転換したい
- ・ひまわりママ(介護予防)
- ・少し困っていることがあって相談したい

など、どうぞお気軽にご参加ください。

※現在、感染症拡大防止の対策とお願いをしています。

※詳しい内容についてはお問い合わせください。

(平日**2~3**日活動しています)



ひまわりママ  
のところです

場所：文京区本郷2-4-1 倉田ビル101

連絡先：**03-5800-2942**

(文京区社会福祉協議会地域福祉推進係 森田・榎本)



| 月曜日                         | 火曜日  | 水曜日   | 木曜日  | 金曜日                       | 土曜日  |
|-----------------------------|--|---|--|---------------------------|--|
| 31                          | 01   | 02  | 03   | 04                        | 05<br>■10:00～11:30<br>シエル・ブルー<br>■13:00～15:00<br>涼み処 |
| 07<br>■13:00～15:00<br>よろず相談 | 08<br>■13:30～15:00<br>コミュニティカ<br>フェ<br>ひまわりママ<br>暮らしの保健<br>室 | 09  | 10   | 11<br>■13:00～15:00<br>涼み処 | 12   |
| 14                          | 15   | 16<br>■13:30～15:00<br>コミュニティカ<br>フェ<br>ひまわりママ | 17<br>■13:30～15:00<br>コミュニティカ<br>フェ<br>ひまわりママ<br>暮らしの保健<br>室 | 18<br>■13:00～15:00<br>涼み処 | 19   |
| 21                          | 22   | 23<br>■13:30～15:00<br>コミュニティカ<br>フェ<br>ひまわりママ | 24<br>■13:30～15:00<br>コミュニティカ<br>フェ<br>ひまわりママ<br>暮らしの保健<br>室 | 25<br>■13:00～15:00<br>涼み処 | 26   |
| 28<br>■13:00～15:00<br>よろず相談 | 29<br>■13:30～15:00<br>コミュニティカ<br>フェ<br>ひまわりママ<br>暮らしの保健<br>室 | 30  | 01   | 02                        | 03   |

## 活動内容

- コミュニティカフェ・ひまわりママ 参加費：  
介護予防活動、コミュニティカフェ
- 暮らしの保健室 参加費：無料  
看護師による血圧測定・健康相談、暮らしに役立つお話もあり
- よろず相談 参加費：無料  
看護師による何でも相談
- 涼み処 参加費：100円  
暑い夏、涼しい場所で一休みしていきませんか  
地域の情報や相談窓口の情報の提供、ちょっとしたお楽しみ用意しています  
社会福祉協議会や地域生活支援拠点の職員が滞在しています
- シエル・ブルー 参加費：100円  
若年性認知症の当事者・家族が集う場

### ※感染症対策について

- ・消毒液の設置、換気を実施しています
- ・参加人数多くなった場合、入室をお断りする場合がございます

### ※お願いしたいこと

- ・マスクの着用と入室時の手洗い・消毒をお願いしています
- ・来所される前に検温や体調をご確認のうえ、ご参加ください



連絡先：03-5800-2942

(文京区社会福祉協議会地域福祉推進係 森田・榎本)

## 1 緊急時の対応

## 事例①

|        |   |
|--------|---|
| 本人及び家族 | 本人：60代、女性、統合失調症      家族：90代の母親が入院   |
| 状況     | 高齢者あんしん相談センターより受電。母親のケアマネが本人の一人暮らしを案じ、高齢者あんしん相談センターへ相談。ケアマネが本人の受診に同行して、主治医と任意入院に繋がられるか試してみる予定。利用できるサービスがあるか。                          |
| 課題     | 母親が不在となった場合、かつ治療の必要性がない場合の一時利用。これまでにサービスの利用がなく、支援者がいないため、生活状況の把握や支援方針・支援チームの構築に時間を要する。ショートステイを利用中に本人の生活能力等を確認しつつ、在宅生活に向けた支援体制の整備に繋げる。 |

## 事例②

|        |   |
|--------|---|
| 本人及び家族 | 本人：20代男性、知的障害（自閉傾向）    母：50代、本人の欲求を家の中で満たしてしまう、本人が外出する動機が作れない    父：同居   |
| 状況     | 母と本人との共依存関係が強固で、母もこのままの生活ではダメだと思っているが、なかなか具体的な動きには至らず。本人を可愛がり献身的に介助をしている。母は最近身体疾患がみつきり、いずれ入院が必要。このままでは良くないと母は認識している。入院等で母の介助が無くなると、突然危機的状況になる可能性が大。 |
| 課題     | 家族が不在となった際の緊急受け入れ先が必要。受け入れている間にアセスメントを行い支援計画を立てて、その後の生活を組み立てる。  |

## 2 生活体験

|        |   |
|--------|---|
| 本人及び家族 | 本人：60代、女性、躁鬱病      家族：同居の姉  |
| 状況     | 姉より電話。本人は、以前他区に住んでいたが、数年前に熱中症になってから姉が引き取って現在は二人暮らしをしている。自分のことは自分でできるようになってもらいたいのが姉の希望。65歳になったら介護保険サービス利用と聞いているが、それまで使えるような自立に向けたリハビリはないか。社会参加を促す支援もしてもらいたい。姉と本人だけの世界だと姉も鬱々としてしまい、本人を誰かに連れ出してもらいたいと思う。保健師にも相談をして地域活動支援センターを紹介してもらおうが通所に至らず。現在はホームヘルパーが週に1日来て買い物・掃除を手伝っている。→訪問看護の導入を助言。 |
| 課題     | 本人の自立に向けた、病状も含めた生活課題の把握。課題への取り組み方法の検討と、自宅での生活に取り込むための本人及び家族への助言等。   |